

平成30年度学校評価実施計画

学校名 大分県立佐伯支援学校

前年度評価結果の概要	<p>○重点目標1「TKプロジェクトの推進(カリキュラム・マネジメントの確立)」については、個別の指導計画を中心としたカリキュラム・マネジメント、K会議の定例化等成果があった。特に担任と保護者との面談による個指計と通知表の説明会の実施は、他校にはない先進的な実践であった。H29年度は各種取組の枠組みの構築がほぼできたので、H30年度はそのシステムを活用した中味の充実が求められる。</p> <p>○重点目標2「安全性の向上と児童生徒と向き合うための時間の確保につながる業務改善の推進」については、文科省が新たに掲げる「働き方改革」を先取りした取組であり、業務改善提案シートの活用や各種マニュアルの作成等の成果があった。但し、取組指標の量的達成に加え質的内容の検証を十分にし、その上での工夫をしなければ、達成指標の全ての数値目標の100%達成は難しい。H30年度は県立学校でタイムレコーダーの導入が予定されているので、客観的な数字で勤務実態の把握をしながら業務の平準化を推進することが求められる。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
<p>基本的人権を尊重し、児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行い、自立し社会参加することをめざし、豊かでたくましい心身と自ら生きる力を培う。</p>	<p>1 児童生徒一人一人に向き合う教育指導システムの確立 2 児童生徒職員にとって安全安心な環境の構築 3 全職員が協働して、正確・迅速・効率的に業務を遂行できる学校経営体制の確立</p>	<p>1 「TKプロジェクト」の推進(カリキュラム・マネジメントの確立) 2 児童生徒・職員の健康維持と安全性の向上及び、児童生徒・授業と向き合うための時間の確保につながる業務改善の推進</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL/SL
<p>1 TKプロジェクトの推進 (カリキュラム・マネジメントの確立)</p>	<p>(1) 「個別の指導計画検証会議」(K会議)が、「個別の指導計画」の確認・修正や、授業の工夫・改善に役だったと回答する教員が100%(職員アンケート) (昨年度…88%)</p> <p>(2) 「個別の指導計画」の指導項目毎の評価で、全児童生徒の合計において、◎評価60%以上かつ◎+○評価100% (昨年度…◎52%、◎+○93%)</p> <p>(3) 学校での指導内容とその結果が理解できたと回答する保護者が100%、子どもの指導について学校と家庭の連携ができたと回答する保護者が100%(保護者アンケート) (昨年度…「理解できた」100%、「連携できた」未調査)</p>	<p>① 「個別の指導計画検証会議」(K会議)の効果的運営</p> <p>② K会議と連動した授業改善の推進</p> <p>③ 「個別の指導計画」に基づいた指導・評価の、保護者への明確な説明と保護者の理解の深化及び、学校と家庭の連携の促進</p>	<p>・K会議の計画的運営(協議内容と協議期日を明記した予定表の作成) ・クラス解体授業や合同授業における各単元の、進行管理責任者・児童生徒毎の評価担当者の明確化(進行管理責任者・評価担当者一覧表の作成) ・次年度の教育課程と年間指導計画の作成につながる、「K会議実施報告シート」の作成・活用</p> <p>・授業観察シートの作成と、管理職・主幹教諭による授業観察 ・管理職・主幹教諭による授業観察後の指導・助言 ・管理職による、個別の指導計画の定期的なチェック</p> <p>・「通知表」の様式に関する説明会の実施 ・「個別の指導計画」「通知表」の保護者への説明会の企画運営 ・説明会後の保護者アンケートの実施</p>	<p>PL:研究主任 SL:学部主事 (学年主任)</p> <p>PL:主幹教諭 SL:校長・教頭</p> <p>PL:学部主事 SL:教頭</p>
<p>2 児童生徒・職員の健康維持と安全性の向上及び、児童生徒と向き合うための時間の確保につながる業務改善の推進</p>	<p>(1) 児童生徒・授業と向き合うための時間(授業準備・職員間の情報交換や話し合い等)の確保ができていると回答する教員が100%(職員アンケート) (昨年度12月…83%)</p> <p>(2) タイムレコーダーを活用した職員一人一人による働き方改革で、残業時間が、月45時間・年360時間以内の職員が100%、そのうち月35時間・年350時間以内が80%以上 (昨年度…未調査)</p> <p>(3) 学校での活動における児童生徒の事故発生件数0件 (昨年度…0件)</p>	<p>① 業務改善の推進と、分掌間の業務の平準化・職員一人一人の業務の平準化</p> <p>② 管理職による全職員の残業時間の把握と、「ノー残業(1回以上/週)」・「平日19:00以降と休日の完全閉庁」・「夏・冬休み期間のノー残業」の徹底で、職員一人一人による業務改善の促進</p> <p>③ 校内における児童生徒の安全管理・衛生管理の徹底</p>	<p>・分掌機構の改編と分掌業務の精選・変更 ・衛生管理者と学部主事による、職員の残業時間のチェックと、授業・分掌業務・学部業務を包括した、所属職員の業務の平準化 ・学部内の業務改善の推進(行事の精選等を含む)</p> <p>・管理職による残業時間のチェック(毎月) ・管理職による、残業時間月35時間以上の職員との面談及び、勤務状況改善のための助言・指導 ・「ノー残業(1回以上/週)」・「平日19:00以降と休日の完全閉庁」「夏・冬休み期間のノー残業」の不実施者への、管理職からの指導・助言 ・「残業時間月35時間以内」の「目標管理シート」での目標化</p> <p>・ヒヤリハット対応マニュアルの周知と対応の徹底 ・給食指導確認シートの作成と確実な運用 ・感染症対応・衛生管理マニュアルの周知・徹底</p>	<p>PL:衛生管理者 SL:学部主事</p> <p>PL:教頭 SL:事務長</p> <p>PL:生徒指導主任 保健体育主任 SL:教頭</p>